

授業概要

昨今の国際情勢においては、経済の相互依存を利用し自国の利益を最大化する、いわゆる「経済の武器化」を推進する国が増加しており、経済と政治が密接不可分な関係にある。このような状況を踏まえ、本講座では、講師の欧州での滞在経験及びシンクタンクでの政策提言などに関わってきた実務経験なども踏まえ、欧州の統合と経済に加えて、西欧から中・東欧までの各地の政治経済事情、ロシア・ウクライナ戦争における欧州への影響と対応について講義する。また、本学が文部科学大臣認定「SAIGAKU 数理・データサイエンス・AI 応用基礎プログラム」を提供していることを踏まえ、欧州の政治経済に関わる統計的手法を用いた論文のエッセンスについても各授業の一部に盛り込む形で講義する。米国の政治経済事情については、欧州とのかかわりの文脈の中で取り扱う。

授業計画

第 1 回	イントロダクション
第 2 回	政治経済理論：経済と政治が融合した「地経学」、各国政治を分析する 3 つの “i”
第 3 回	欧州政治経済事情①：西欧
第 4 回	欧州政治経済事情②：中・東欧
第 5 回	欧州政治経済事情③：南欧
第 6 回	欧州統合史：欧州における経済を中心とした「積極的統合」と「消極的統合」
第 7 回	欧州機構：EU 首脳会議、欧州委員会、欧州議会、EU 司法裁判所
第 8 回	関税同盟と単一市場、EU の共通政策：関税同盟からユーロ導入まで、EU の通商政策と日本
第 9 回	現代の複合危機と EU：ユーロ危機からロシア・ウクライナ戦争まで
第 10 回	ロシア・ウクライナ戦争と欧州①：対米・対ロ・対中関係の変容
第 11 回	ロシア・ウクライナ戦争と欧州②：地政学化する EU 拡大戦略
第 12 回	ロシア・ウクライナ戦争と欧州③：移民の経済効果、極右の台頭、移民兵器
第 13 回	ロシア・ウクライナ戦争と欧州④：エネルギー安全保障
第 14 回	ロシア・ウクライナ戦争と欧州⑤：偽情報の政治経済への影響と対策
第 15 回	ロシア・ウクライナ戦争と欧州⑥：マネーロンダリングと汚職対策
第 16 回	学期末試験

到達目標

- ・EU 統合および欧州各国の政治経済事情について理解し、現在欧州内外で起きている政治経済に関わる事象について、複数の視点から批判的に説明できる。
- ・西欧に加えて、中・東欧や南欧についての知識を身に付け、今後の欧州政治経済の展望について考えることができる。

履修上の注意

講義を中心としつつも、各テーマの理解を深めるために、グループワークやディスカッションなどの双方向的な授業スタイルを随所に取り入れる予定である。また、統計的手法を用いた論文についても各授業の合間に取り扱う予定であるが、論文の概要や手法の背景についての紹介が主な目的であるため、統計についての事前知識は一切必要とせず、期末試験の範囲にも含まれない。

予習・復習

- ・予習：事前に提示された質問もしくはキーワードについて自分なりに調べてくる。
- ・復習：資料を見返すとともに興味のあるテーマについては関連書籍を購入してさらに理解を深める。

評価方法

学期末試験 60%、課題 20%（新書の書評を予定、詳細は初回授業で説明）、受講態度 20%

テキスト

都度資料および文献リストを配布する。

参考書：現代ヨーロッパ経済 [第 6 版] 田中素香他著 有斐閣 2022 年 (ISBN 978-4-641-22191-8)

参考書：ヨーロッパの政治経済・入門 [新版] 森井祐一編著 有斐閣 2022 年 (ISBN 978-4-641-18457-2)

参考書：欧州統合史 [第 2 版] 遠藤乾編著 名古屋大学出版会 2024 年 (ISBN 978-4-815-81165-5)